



UNTIL THE END OF THE WORLD

1999年、4つの大陸と10の国々を舞台に、失われた母の夢を再生させようとする
若き恋人たちの美しき映像詩が始まる。

ヴィム・ヴェンダース監督作品



夢の涯^はまでも

ウィリアム・ハート ■ ソルベイグ・ドマルタン ■ ジャンヌ・モロー ■ マックス・フォン・シドー ■ サム・ニール ■ 笠 智衆

製作：ジョナサン・タプリン、アナトール・ドーマン／脚本：ピーター・カーレイ、ヴィム・ヴェンダース／撮影：ロビー・ミュラー／編集：ピーター・ブリジゴダ／美術：テイラー・フラモンド、サリー・キャンベル／HDTVデザイン：ショーン・ノートン

製作：トランスパシフィック・フィルムズ、アルゴスフィルムズ、ピレッジ・ロードショー、ロードムービーズ 提供：サントリー、アスキー、三菱商事、電通／配給：日本ヘラルド映画 HDTV技術協力：SONY、NHK、総合ビジョン／未来製品協力：SONY、富士重工、服部セイコー 他

夢の涯^はてまでも

UNTIL THE END OF THE WORLD

西暦2000年の時代に向けて、“夢”の力を問いかける一大オデッセイ。

1999年、12月。21世紀への変わり目を目前にして、地球は、インドの核衛星が軌道航路を外れ、今にも落下してこようという大事件に見舞われていた。クレア（ソルベグ・ドマルタン）は、その日もうなされて目を覚ました。気がつくやとベネチアの友人の家。虚しさの中、彼女は恋人の作家ユージーン（サム・ニール）が待つパリに帰るべく車を駆った。物語りは、暗鬱な危機感を孕んだ世紀末の空気の下、ここから始まったのである。クレアはひょんなことから銀行強盗たちと一緒に、金をばりまで運ぶ役を引き受けることとなる。途中立ち寄ったショッピング・センターで彼女は運命の男トレヴァ（ウィリアム・ハート）と出会う。何者かに追われているトレヴァと警官の目を盗むクレア。二人は、お互いが誰かをも知らずにパリまで旅をする。



パリに戻ったクレアは何かを満たされない。そんなある日、地下鉄でトレヴァを追っていた黒人を見かけた。彼のテレビ電話を探るとベルリンの私立探偵ウィンター（リュドガー・フォークラー）に行き着いた。どうやらト

レヴァは懸賞金の係ったお訪ね者らしい。クレアはトレヴァに会いたい一心からベルリンに飛び、トレヴァの居所を突き止めたクレアは、彼に追っ手が迫っていることを知らせるが、ろくに話しも出来ないまま、またしてもトレヴァは行方不明に。探偵ウィンターの力を借りてリスボンへ行ったクレアはトレヴァの信頼を勝ち取り、二人は出会って初めて愛を交わすのである。しかし、トレヴァはまたしても姿を消し、クレアはトレヴァを求めていつ終るとも知れぬ旅に出る。モスクワ、シベリア鉄道の長い夜。中国の田舎町、北京、そして疲れきったクレアは東京へ。新宿、夜の無い町。この町でクレアは、遂に、失明寸前のトレヴァを見つけた。



レヴァを救ったのは、箱根の旅館を営む森老人（笠智衆）だった。薬草を煎じた治療で視力を取り戻したトレヴァは、クレアに彼の秘密を、そして何故彼が追い回されているのかを語った。トレヴァの本名は、サミ

ュエル・ファーバー。盲目の人間に視覚を与えるカメラという世紀の発明をしたヘンリー・ファーバー（マックス・フォン・シドー）の息子で、彼の盲目の母エディス（ジャンヌ・モロー）に、彼女が失った映像を与えるべく世界中を旅して母の為の映像をカメラで記録しているのだという。そしてそのカメラをめぐって、CIAを始めとする世界中のエージェントたちが彼を追っているのだという。彼の眼もそのカメラの為に視力を落したのだ。二人は、彼の姉を映す為サンフランシスコへ向かう。そして、遂に、最終目的地父と母の待つオーストラリアの奥地へと辿り着く。美しき盲目の母エディス。彼女に彼女が生きてきた世界を見せようとする父ヘンリーの執念は、サミュエルとクレアの脳を媒して見事に成功した。サミュエルとクレアの果てしない旅は、遂に終わったかのようにみえた。しかし、彼らは、自分の夢を再生映像で見るという禁断の世界に足を踏み入れていたのだ。自分の夢に魅了された二人が、その涯にて見つけたものは……そして、地球の運命は……。



INTRODUCTION

「ベルリン・天使の詩」で世界中の絶賛を浴び、その名声を揺ぎないものとした名匠ヴィム・ヴェンダースの最新作「夢の涯てまでも」が、長年の構想を経て、この度いよいよ完成した。

「ベルリン……」で、天使と人間の愛を故国ベルリンを舞台に叙情的に描き、多くの人々の心をうったヴェンダースは、今回の作品で彼自身の創作の源である、“夢”の世界に挑んだ。

子どもの頃、人はよく夢で旅をする。遠い町へ、海の向こうへ、過去へ、未来へ、あるいはふしぎな非現実の世界へ。しかし、成長するにつれ、夢は子どもの頃ほど自由に羽ばたかなくなる。もし、大人になって、昔の夢をもう一度見られるとしたら人間はどうなるのだろうか。夢の涯てには一体何があるのか。

ヴェンダースはこの人類永遠のテーマともいべき物語りを1977年「アメリカの友人」の撮影終了後思いついたという。何度か脚本を推敲し、遂に13年を経て、1990年4月2日にイタリアでクランク・インしたこの撮影は、最終的に10ヶ国に及び横断ロケを敢行、加えて製作費2200万ドル、日・米・独・仏・豪の五ヶ国合作という壮大なスケールの作品に仕上がった。

ヴェンダースの情熱をすべて注ぎ込んだ本作品は、西暦2000年の新しい時代に向けて、現代人が忘れていた“夢”の力をもう一度問いかける一大オデッセイとして、今世紀最後の一大叙事詩となることは間違いない。

MUSIC ● トーキング・ヘッドス ● エルビス・プレスリー ● ネナ・チェリー ● バディ・スミス & フレッド・スミス ● カン ● U2 ● エルヴィス・コストロ ● ジェーン・シベリー & K.D. ラング ● ジュリー・クルーズ ● ダニエル・ラノア ● ルー・リード ● Tボーン・バーネット ● クライム & ザ・シティ・ソリューション ● ニック・ケイヴ & ザ・パッド・シーズ ● R.E.M. ● ビーター・ガブリエル ● デベッシュ・モード ● ロビー・ロバートソン ● グレアム・レベール ● デビッド・ダーリング (サントラ盤CD/ワーナー・ミュージックより12月発売予定)

92年〈陽春〉ロードショー!

有楽町駅日比谷口・有楽町ビル内
有楽町 **スバル座** 03 (3212) 2826